舞鶴工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	メディアリテラシー

科目基礎情報

科目番号	0066	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気情報工学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	「入門マルチメディア 」（CG-ARTS協会）		
担当教員	舩木 英岳		

到達目標

1　ディジタル情報について理解し，説明できる
2　メディア処理について理解し，説明できる
3　ディジタル端末について理解し，説明できる
4　インターネット通信サービスについて理解し，説明できる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	ディジタル情報について理解し，説明できる	ディジタル情報について理解し，大まかに説明できる	ディジタル情報について理解や説明ができない
評価項目2	メディア処理について理解し，説明できる	メディア処理について理解し，大まかに説明できる	メディア処理について理解や説明ができない
評価項目3	ディジタル端末について理解し，説明できる	ディジタル端末について理解し，大まかに説明できる	ディジタル端末について理解や説明ができない
評価項目4	インターネット通信サービスについて理解し，説明できる	インターネット通信サービスについて理解し，大まかに説明できる	インターネット通信サービスについて理解や説明ができない

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B)

教育方法等

概要	ディジタル化は，多彩なメディアを統合して処理するために必要な表現方法である。ネットワークを利用して，離れた場所にある端末や機器に瞬時に情報を伝送することもでき，現代社会では，ディジタル化とネットワークがきわめて大きな役割を果たしている。従来のネットワークを介したコミュニケーションでは，パソコンが中心的な存在であったが，気軽に持ち運べるモバイル端末によりコミュニケーションの手段も大きく変化して，社会の様々な場所に影響を与えている。 本授業では，メディアの処理能力を理解し，メディア機器を自らのものとして使いこなす能力を身につけることを目的とする。
授業の進め方・方法	【授業方法】 講義を中心に授業を進める。主にセンタモニタを使用して説明していく。講義の間に，重要な内容について適宜学生に質問して，理解しているかどうかを確認する。 また、必要に応じて時間外学習としてレポート課題を課す。 【学習方法】 ・センタモニタの内容は必ずノートに取ること。 ・予習は必ずしも必要ではないが，ノートを見ながら復習を行い，分からないことがあれば質問すること。
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 前期・後期とも中間・期末の２回の試験を行う。試験時間は50分とする。 定期試験の成績を60%，レポート課題（宿題を含む）を40%とし，その合計を100点満点として評価する。また，欠席1回につき2点の減点とする。 中間・期末の評価の平均値を総合評価とする。 到達目標に基づき，ディジタル情報，ディジタル端末，メディア処理，インターネット通信サービスについての理解力についての到達度を評価基準とする。 【教員の連絡先】 研究室：A棟3階（A-314），内線電話：8968，e-mail: funakiアットマークmaizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること。）

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明，アナログとディジタル，マルチメディアについて	1
		2週	ディジタル端末，コンピュータの構成，OSの種類	1，3
		3週	ファイルフォーマット，文章の作成，画像処理	1，2
		4週	映像と音楽の編集，3次元CG，Webページの作成	1，2
		5週	インターネットの仕組みと役割，インターネット接続	3，4
		6週	ブロードバントネットワーク，モバイル通信	3，4
		7週	WWW，電子メール，SNS	2，4
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	オンラインショップ，金融サービス，コンテンツ配信	2，4
		10週	情報家電，テレビのディジタル放送，	3，4
		11週	ICカード，交通におけるマルチメディア	3，4
		12週	医療と福祉，行政サービス	3，4
		13週	セキュリティ	2，4
		14週	インターネット上の情報（1）	3，4
		15週	インターネット上の情報（2）	3，4

		16週	（15週目の後に期末試験を実施） 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0